

# 幸福実現News

ニュース

党員  
限定版

第13号

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

発行所 幸福実現党本部 東京都中央区銀座2-2-19 〒104-0061  
電話 03-3535-3777 ©幸福実現党本部 2010年



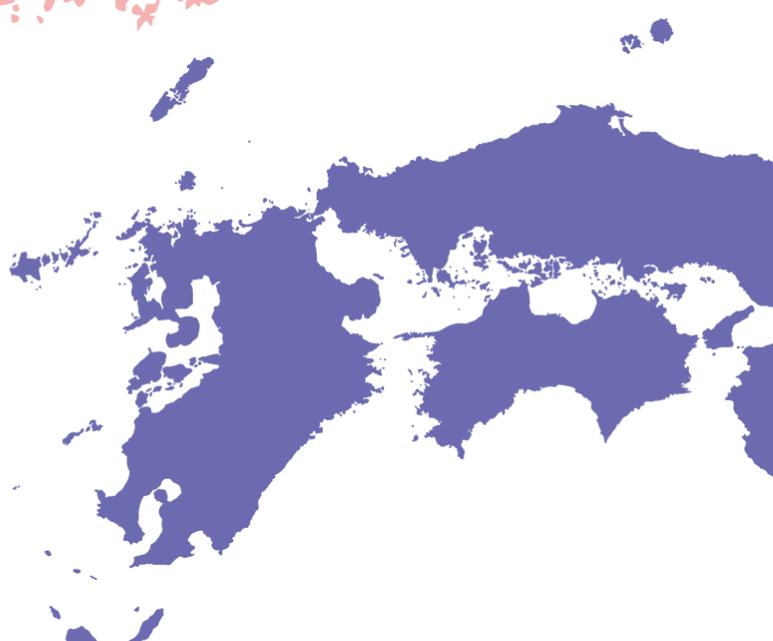
東シナ海



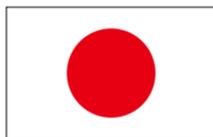
沖縄現地  
レポート

## どうなる!?! 尖閣諸島

# 自分の国は 自分で守る決意を



尖閣諸島



与那国島

沖縄島

石垣島

宮古島



沖縄県・尖閣諸島の魚釣島と北小島、南小島(時事)

尖閣漁船衝突事件は、中国漁船船長が釈放され、日本政府が、レアアースの輸出停止、フジタ社員拘束などの中国の圧力に屈して決着した。

立党以来、幸福実現党が訴え続けてきた「国難」が今まさに現実化している。

不安と危機感がつのる現地からレポートする。

「尖閣諸島はもう手遅れです」——そう衝撃の告白をしたのは、沖縄県石垣市在住の漁業関係者(34歳)だ。中国漁船はすでに10年前から尖閣諸島周辺に頻繁にやって来ている。はえ縄の縄を切られ、縄にかかっている魚をこっそり巻き上げられたり、網を盗まれたりなど、これまでも沖縄の地元漁業者たちは被害を受けてきたと言う。

「地元漁民にとって尖閣問題は非常にナイーブな問題です。中国漁船による被害については、これまで何度も訴えてきましたが、政府は何もしてくれません。それどころか、尖閣諸島に上陸すると嫌がらせを受けます。漁業権を奪われかねませんし、公安警察に3カ月くらいマークされたという話も聞きます。そういった圧力をかけられるので、島の人たちは尖閣諸島には近づけない状態なのです」

「政府の弱腰に強い危機感を感じます。『ここは自分たちの領海だ』とばかりに中国漁船が辺りをウロウロしているの、漁師たちは恐くて漁に出られません。このままだと、私たちは稼ぎがなくなってしまうので、今後の生活もとても不安です」

放は、謝罪と損害賠償を要求されるといって、かえって中国の傲慢な態度を引き出す結果となった。日本は、主張すべきことは主張し、尖閣諸島の領有権があることを国際社会に発信しなければならなかったのだ。退役軍艦である中国の漁業監視船が尖閣周辺に現れ、今後、武装した漁船も出没する可能性がある。日本としては、海保は、正当防衛、緊急避難、公務執行の実力担保のため、巡視船を重装備するなどの備えが必要だ。また、米軍が日本から引き揚げる最悪の事態を避けるためにも、普天間基地移設問題の早急な解決が求められる。

2008年1件、2009年0件に対し、今年14件にも上る。この漁業関係者は、国益を守ろうとしない現政府の対応に憤りを隠せない。「現政府はもう尖閣諸島を日本の島とは思っていないのではないか。中国漁船による領海侵犯は繰り返されています。民主党政権になって、その弱腰外交が事態を悪化させてい

るので、地元漁民の怒りはピークに達しています」  
**引けば高にかかる中国**  
対中国外交において、「妥協」は最悪と言っている手段だ。2001年に日中間で定めた制度により、東シナ海の日本の排他的経済水域における「海洋調査」を、事前通報を前提に認めてしまつと、中国はそれを「悪用」して、日本領海内や太平洋にまで進出し、潜水艦の航路を確保するための軍事調査まで行うようになった。今回の漁船衝突事件においても、漁船船長が釈放された24日から、漁業監視船2隻を尖閣諸島沖の日本領海周辺に常駐化させている。中国は引けば高にかかってくる国なのだ。

家族・親類の多くが漁業を営む宮里末さん(55歳)は、こうした事態に不安をもちます。「政府の弱腰に強い危機感を感じます。『ここは自分たちの領海だ』とばかりに中国漁船が辺りをウロウロしているの、漁師たちは恐くて漁に出られません。このままだと、私たちは稼ぎがなくなってしまうので、今後の生活もとても不安です」



〈幸福実現ニュース〉は、幸福実現党の活動報告や、日本、そして世界の政治・経済に対して、他のメディアにはない独自の視点と考察、先見性ある提言をご紹介します。幸福実現党の機関紙です。1、2面はネットからダウンロードもできます(無料)。幸福実現党の会員の方には、全4面のペーパー版が郵送されます(会員登録が必要です)。

PDF版ダウンロード(無料)はこちらから  
[www.hr-party.jp/media/newspaper.html](http://www.hr-party.jp/media/newspaper.html)  
〈幸福実現ニュース〉に関するご意見・ご感想は [news-editor@hr-party.jp](mailto:news-editor@hr-party.jp)

# 間違った教育は国を滅ぼす

## 北教組の実態 追及レポート

菅改造内閣発足後、初の国政選挙となる衆院北海道5区補選が、10月12日に告示となる。

この補選は、北海道教職員組合（北教組）による不正資金提供事件などの責任をとって辞職した、民主党の小林千代美前衆院議員の議席を争うものであり、教育問題が重要な争点の一つとなっている。

北教組は、日本教職員組合（日教組）に所属する団体で、他県に比べても組織力が強いことで知られる。黒川白雲政調会長と、補選に立候補予定の森山佳則・北海道第5区支部長が、北教組の実態をレポートする。

とが明らかになった。事態を重く見た北海道教育委員会がはじめの実態調査を実施したが、北教組はこの調査に協力しないように組合員に指導していたことが発覚して非難を浴びた。

富田さんは、「この事件のとき、私は何とかしていい問題を解決したいと周りに呼びかけましたが、同僚は、『教師が何をしたらいい。俺たちはたかが教師だ』という態度でした。『教師は子供を導く聖職者だ』という使命感や情熱はないんです」と嘆く。

小学生の子供を持つ北海道札幌市在住の主婦(38歳)も、「学校にはいじめ問題の解決を求めても無駄です」とあきらめ顔だ。学校で子供が嫌がらせを受けたため、担任に相談したところ、「来週に返事をします」と先延ばしされ、結局、何の回答もなかったと言った。

授業にかける熱意も低く、北海道の全国学力テストのランクは、47都道府県中、小学校は46位で、中学校は44位。北教組は「差別・選別は許さない」というスローガンの下、学力テストの導入に反対している。全国各地で導入されつつある習熟度別授業の導入などは、もってのほかだ。

「北教組では『差別につながるからエリートはつくりたくない』という方針があります。かといって、学習の進度が遅い子に補習をするのも不公平だと言っています。仕事をしたくない言い訳ではないかと思ってしまうます」(富田さん)

徹底した反日教育で日本への誇りを失わせる

もっと恐ろしいのは、徹底して自国への誇りを奪う「反日教育」を行うことだ。北教組から現場の教師には、いかにして入学式や卒業式などの式典で、日の丸の掲揚や、君が代の斉唱を行わないようにするかという指示が来ると言う。

以前北教組に所属していた公立中学の教師、岩上さん(仮名)に聞いた。

「日の丸はステージ正面に掲げるのが本筋ですが、それでは目立ちすぎるので、『三脚でステージに乗せることは同意するが、その代わり組合員に式典の司会をさせるよう交渉せよ』と

教師の思想は、子供たちを確実に蝕んでいる。岩上さんは、原爆でたくさん犠牲者が出たことを話したとき、生徒の一人から「でも、日本人もたくさんの人を殺したよね」という意見が出てショックを受けたと言った。

教師や保護者の声を聞いた森山佳則・北海道第5区支部長は、こうした教育の実態に憤りを隠せない。

「北教組や日教組の教育が続けば日本は滅ぶという危険をおぼえます。学力低下やいじめを放置していることで、この国の未来を担う子供のやる気を削ぎ、成長のチャンスを潰しているんです。

特に自虐史観教育は許せません。これでは日本の国を愛することも、日本に住む自分たちを愛することもできない。尖閣諸島周辺の領海侵犯事件や中国の強硬姿勢など、自国壊滅への呼び水をつくっているのは自国に誇りを持たない国民が増えているからではないでしょうか。

誤った教育が今の日本の危機を招いた一因だとすれば、教育を変えれば、日本は繁栄できるはずですよ。心ある教師の皆さんと共に、生命を賭けて、教育改革の重要性を訴えていきます」

**違法な金銭支援と選挙活動**

「北教組には、一般の組合員に収支を明らかにしていない資金が55億円相当プールされていると言われています。今年2月に発覚した、小林千代美陣営への不正資金提供事件のお金も、ここから拠出されたものでしょう」

4年前まで約10年間にわたって北教組に所属し、役員も経験したという公立中学の現役教師の富田さん(仮名)はそう語った。

違法行為は金銭面にとどまらない。選挙活動も半強

制的に教師に行わせている。「日教組が推す候補者のポスター貼りやビラ配布などの選挙活動にも駆り出されます。公立学校の教師は本来選挙活動を行ってほしくないはずですが、違法であるという感覚が麻痺するほど常態化しています」

**選挙の目的は教員の地位と収入を守るため**

いじめ問題と授業に対する北教組の姿勢も問題だ。

2005年に北海道滝川市の小学校で起きたいじめ自殺事件は、いじめの事実が、教師ら関係者の口裏あわせて隠ぺいされていたこ

「北教組では『差別につながるからエリートはつくりたくない』という方針があります。かといって、学習の進度が遅い子に補習をするのも不公平だと言っています。仕事をしたくない言い訳ではないかと思ってしまうます」(富田さん)

徹底した反日教育で日本への誇りを失わせる

もっと恐ろしいのは、徹底して自国への誇りを奪う「反日教育」を行うことだ。北教組から現場の教師には、いかにして入学式や卒業式などの式典で、日の丸の掲揚や、君が代の斉唱を行わないようにするかという指示が来ると言う。

以前北教組に所属していた公立中学の教師、岩上さん(仮名)に聞いた。

「日の丸はステージ正面に掲げるのが本筋ですが、それでは目立ちすぎるので、『三脚でステージに乗せることは同意するが、その代わり組合員に式典の司会をさせるよう交渉せよ』と

教師の思想は、子供たちを確実に蝕んでいる。岩上さんは、原爆でたくさん犠牲者が出たことを話したとき、生徒の一人から「でも、日本人もたくさんの人を殺したよね」という意見が出てショックを受けたと言った。

教師や保護者の声を聞いた森山佳則・北海道第5区支部長は、こうした教育の実態に憤りを隠せない。

「北教組や日教組の教育が続けば日本は滅ぶという危険をおぼえます。学力低下やいじめを放置していることで、この国の未来を担う子供のやる気を削ぎ、成長のチャンスを潰しているんです。

特に自虐史観教育は許せません。これでは日本の国を愛することも、日本に住む自分たちを愛することもできない。尖閣諸島周辺の領海侵犯事件や中国の強硬姿勢など、自国壊滅への呼び水をつくっているのは自国に誇りを持たない国民が増えているからではないでしょうか。

誤った教育が今の日本の危機を招いた一因だとすれば、教育を変えれば、日本は繁栄できるはずですよ。心ある教師の皆さんと共に、生命を賭けて、教育改革の重要性を訴えていきます」

**幸福実現党の主な教育政策**

- ① 公立学校を復活させ、塾に頼らない学校を実現します。**
  - ・教員免許を持っていない人でも教壇に立てるようにして、教員に競争原理を取り入れ、教師の質を高めます。
  - ・学校設置基準を見直し、簡単に学校をつくることのできるようにして、学校間の競争を促します。
- ② 「いじめ防止法」を制定し、子供が安心して学校に通えるようにします。**
  - ・いじめを隠ぺいした教師や教育委員会、PTAを厳しく処罰します。
  - ・いじめ加害者には出席停止の措置も辞さない姿勢で臨み、善悪の基準を教えます。
- ③ 日本人としての誇りと自信が持てる歴史教育を行います。**
  - ・自虐史観や反日教育を払拭し、自国に誇りと自信を持てるようにします。

たとえ失敗しても、何度でも立ち上がればいい。

**ストロング・マインド** 人生の壁を打ち破る法

最新刊 幸福の科学グループ 創業者 兼 総裁 大川隆法 定価 1,680円 (税込)

人生の壁を打ち破る法 THE STRONG MIND ストロング・マインド 大川隆法

民主党政権がアメリカと距離を取れば日本は**戦場**となる。

**世界の潮流はこうなる**

激震! 中国の野望と民主党の最期

大反響 大川隆法

幸福実現党創立者 兼 党名誉総裁 大川隆法 発行 幸福実現党 定価 1,365円 (税込)